

南北統一問題の実現と課題～金知栄氏の関心を基に～

進藤文也 (21911194js@tama.ac.jp)

問題関心

韓国にルーツを持つ友人の影響で韓国に興味を持ち始め、その友人の影響で韓国語を勉強し、さらに関心が高まった。三年次、韓国への理解を一層深めるため、韓国と深いつながりがある北朝鮮を含む調査を開始した。韓国と北朝鮮について研究する中で、両国を再度一つの国家にする「南北統一」という考えを知る。友人の親戚である金氏が南北統一を目指す活動をしているという話を聞き、南北統一の実現と課題について、『オーラル・ヒストリーに何ができるか』の対話形式を参考に、インタビューすることを決める。

結論

南北統一を実現させるという意識の薄れが若者を中心に広がっており、南北統一の実現は難しいといえる。南北統一への問題関心が薄れてきている背景の一つに、オーラル・ヒストリーの影響力の縮小があげられる。オーラル・ヒストリーは、体験当事者が語ることによって、その事実・事件への理解度が増し、体験者の心情を理解しようとする力学が働く。これは教育機関で実施された場合、そのまま教育的効果として継承される。しかし、朝鮮戦争によって家族が離散した経験を持つ人が高齢化し、生の声を若者に届ける人が少なくなってきた。南北統一を実現させるには、貴重な歴史的証人である体験者の高齢化問題、体験者の声を継承する方法（書籍化、映像化、デジタル化など）の多様性を克服できるかどうかである。

参考文献

六反田豊 (2021) . 『一冊でわかる韓国史』 . 河出書房新社

御厨貴 (2019) . 『オーラル・ヒストリーに何ができるか』 . 岩波書店

さがら邦夫 (2000) . 『新・南北問題』 . 藤原書店

ARC 国別情勢研究会 (2020) . 『ARC レポート 韓国』 . ARC 国別情勢研究会

キム・テジン (2022) . 『平和・統一を開いていく人々』 . チン・インジン

朝日新聞 DIGITAL 眠りながら逃げ続け 語り継ぐ戦争

https://www.asahi.com/articles/ASL5P3PJ4L5P0IPE00B.html?ref=pc_ss_date_article

(最終閲覧日 2022年12月15日)

外務省 北朝鮮基礎データ

https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/n_korea/data.html

(最終閲覧日 2022年1月5日)

コールサック社

[http://www.coal-](http://www.coal-sack.com/poets/view/1482/%E9%87%91%E3%80%80%E7%9F%A5%E6%A0%84%EF%BC%88%E3%82%AD%E3%83%A0%E3%80%80%E3%82%B8%E3%83%A8%E3%83%B3%EF%BC%89)

[sack.com/poets/view/1482/%E9%87%91%E3%80%80%E7%9F%A5%E6%A0%84%EF%BC%88%E3%82%AD%E3%83%A0%E3%80%80%E3%82%B8%E3%83%A8%E3%83%B3%EF%BC%89](http://www.coal-sack.com/poets/view/1482/%E9%87%91%E3%80%80%E7%9F%A5%E6%A0%84%EF%BC%88%E3%82%AD%E3%83%A0%E3%80%80%E3%82%B8%E3%83%A8%E3%83%B3%EF%BC%89)

(最終閲覧日 2023年1月15日)